

## 外国語活動 活動指導案

- 1 単 元 名： 行ってみたい国を紹介しよう (第1限目) 第6学年1組
- 2 使用教材： 英語ノート (英語ノート 36～43ページ)
- 3 本時のねらい： 様々な英語があることを知る。
- 4 本時の展開

時 間	学習内容	指導者の活動 児童の活動	指導上の留意点 準備
2	挨拶する。Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy. 表情絵カードを見せながら全体に挨拶する。 Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy.		・班ごとや列ごとに分けて、挨拶をするなど、できるだけ少人数でやりとりする機会を持たせる。
2 0	【Let's Listen 1】 英語ノートp.36の子どもの名前を紹介する。 4人の名前を知る。  英語ノートp.36の4種類の国旗を見るように言い、国名を紹介する。 絵カードを見せながら、誰がどこの出身かを尋ねる。 様子から、誰がどこの国出身かを予想して答える。 CDでこれら4人の自己紹介を聞いて、わかったことを英語ノートp.36のそれぞれの四角の枠に記入するように指示する。 4人のことについて聞き取れたことを尋ねる。 4人の話の内容以外で気付いたことを尋ねる。 4人の話し方、発音などについて、気付いたことを発表する。		・いきなりCDで4人の自己紹介を聞かせるのではなく、英語ノートp.36の4人の子どもや国旗の絵を見せて、児童に4人に興味を起こさせ、それらの絵がCDの内容を聞く際のヒントになるようにする。 ・指導者は質問をしながら、児童から聞き取れたことを導き出すようにする。児童が What ~? や Where ~? の質問に答えることができない場合は、具体的に From France? Korea? などと国旗の絵カードを見せながら尋ねることにより、児童に答えやすくさせる。
1 0	【Let's Listen 2】 CD から、英語ノートp.37に載っている国旗の説明を聞き、それぞれがこの国のものか、四角の枠に番号を、( )に国名を書くよう指示する。 英語ノートp.37を開け、CDを聞いて、四角の枠に番号を、( )に国名を記入する。		・この活動では、CDを聞いて、4人の話の内容を理解するだけでなく、4人の話す英語から、英語といえども、さまざまな英語があることを理解させることを目的としている。そこで、指導者は、一度CDを聞かせ、児童が内容について、大筋理解できたことを確認してから、今度は、話されている英語そのものに注意しながら聞くように指示を出し、再度CDを聞かせる。 ・日本にも地域によって様々な表現があることや、方言があることを伝え、広い地域にわたって使われている英語も同様に様々な表現や発音があることを理解させる。その際、児童がどの地域で使われている英語が優れているのかなどということに児童の意識が向かないように留意し、言語には優劣がないことを理解させるようにする。
1 0	【Let's Chant】 【Let's Listen 2】で示した6種類の国旗絵カードを見せながら、どの国に行きたいかを紹介する。 指導者の質問に答える。 Yes. No. チャンツをする。		・いきなりチャンツを紹介するのではなく、国旗絵カードを見せながら、指導者がどの国を訪ねたいかを紹介する。そして、児童にもその国を訪ねたいかを尋ねながら、I want to go to ~ の表現を何度も聞かせる。 ・最後に、訪ねたい国としてイタリアを紹介するという形を取りながら、チャンツの内容をリズムをつけゆっくり紹介することにより、児童にその意味を理解させる。
5	振り返りをする。 児童の英語を使おうとする態度面について、良かったところを言う。  挨拶をする。Good-bye. See you. 挨拶をする。Good-bye. See you.		・次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かった点を評価する。

### 5 評価規準

様々な英語があることを知る。 <発表観察>

### 6 指導の反省

世界共通語となっている英語であることに気づける。

## 外国語活動 活動指導案

- 1 単元名： 行ってみたい国を紹介しよう (第2限目) 第6学年1組
- 2 使用教材： 英語ノート (英語ノート 36～43ページ)
- 3 本時のねらい： 行きたい国やその理由について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。
- 4 本時の展開

時間	学習内容	指導者の活動 児童の活動	指導上の留意点 準備
2		挨拶する。Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy. 表情絵カードを見せながら全体に挨拶する。 Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy.	・班ごとや列ごとに分けて、挨拶をするなど、できるだけ少人数でやりとりする機会を持たせる。
5		[Let's Chant] チャンツ絵カードを見せながらチャンツをする。 チャンツをする。	・絵カードを示しながら歌うことにより、児童にチャンツの文言を思い出させるようにする。
1 0		[Let's Listen 1] 巻末国の様子絵カードを切り取るように指示する。 Cut out the cards. 巻末国の様子絵カードを切り取る。 どんなカードがあるか児童と確認する。 どんな単語の絵があるかを発音しながら確認する。 CDを聞きながら、机の上に並べる。 発音する。 CDを聞いて、発音された単語の絵カードを机の上に並べるように指示する。	・CD46チャンツ絵カード ・指導者は、発音しながら絵カードを見せ、児童に音と絵とを一致させるようにする。  英語ノート巻末国の様子絵カードCD47
1 0		[Let's Play] ビンゴ・ゲームをすることを告げる。 英語ノートp.38のマスにカードを並べ、ビンゴ・シートを作成することを告げる。 英語ノートp.38のマスの好きなのところに置くよう指示する。 絵カードをマスの好きなのところに置き、次活動で使用使用するビンゴ・シートを作成する。 作成したビンゴ・シートを使って、ビンゴ・ゲームをする。	・絵カードを見ずに発音することにより、児童に単語を聞き取らせるようにする。児童が絵カードをシートから取ったのを見計らって、絵カードを見せ、児童に取った絵カードと合っているか確認させるようにする。 ・9枚の絵カードであるため、早くビンゴになる可能性が高い。そこで、ビンゴ・シートを作り直し、ゲームを繰り返して行い、児童に何度も、これらの単語を聞かせるようにする。
1 0		[Let's Listen 2] 英語ノートp.39の4人の子どもの絵と国旗とを見るように指示し、それぞれの名前と国名とをやり取りしながら紹介する。 質問に答える。 英語ノートp.39を開け、CDを聞いて、子どもの顔と、行きたい国の国旗、その理由の絵とを線で結びように指示する。 CDを聞いて、子どもの顔と、理由、国旗とを線で結ぶ。	・いきなりCDを聞かせるのではなく、まず英語ノートに載っている4人の子どもの名前と国旗の国名とを確認することにより、どの児童もこの活動に参加できるようにする。 ・CDを聞かせたり、答えを確認したりすることにより、どの児童にも4人の子どもの話が理解できるようにする。 ・パペットなどを使って、やり取りを見せてもよい。
5		国旗絵カードを見せ、行きたい国を紹介する。 指導者の行きたい国、その理由についての話を聞く。 質問に答える。  振り返りをする。 児童の英語を使おうとする態度面について、良かったところを言う。  挨拶をする。Good-bye. See you.  挨拶をする。Good-bye. See you.	・指導者は「エジプトに行きたい。ピラミッドが見たい。」「オーストラリアに行きたい。コアラが見たい。」という一連の話の中で、その意味を理解させるようにする。  ・次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かった点を評価する。

### 5 評価規準

行きたい国やその理由についてまとまった話を聴いて、その概要がわかる。  
< 行動観察・英語ノート点検 >

### 6 指導の反省

世界中の国について視野を広げることができ  
る。

## 外国語活動 活動指導案

- 1 単 元 名 : 行ってみたい国を紹介しよう (第3 限目) 第6 学年 1 組
- 2 使 用 教 材 : 英語ノート (英語ノート 36 ~ 43 ページ)
- 3 本時のねらい : 行きたい国を尋ねたり、尋ねられて答えたりする。
- 4 本時の展開

時 間	学 習 内 容	指 導 者 の 活 動 児 童 の 活 動	指 導 上 の 留 意 点 準 備
5	挨拶する。Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy. 表情絵カードを見せながら全体に挨拶する。 Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy.		・班ごとや列ごとに分けて、挨拶をするなど、できるだけ少人数でやりとりする機会を持たせる。
5	【Let's Chant】 チャンツ絵カードを見せながらチャンツをする。 チャンツをする。		・絵カードを示しながら歌うことにより、児童にチャンツの文言を思い出させるようにする。  CD46 チャンツ絵カード
1 0	【Let's Listen】 英語ノートp.40の3人の子どもの絵を見るように言い、これからこの3人がするスピーチを聞いて、わかったことを英語ノートの吹き出しに書くように指示する。		いきなりCDを聞かせるのではなく、事前に3人の紹介をすることにより、スピーチへの関心を持たせるようにする。 ・スピーチを聞き取ってわかったことを児童が発表する際、国名や名詞の単語で答えることができればよい。 ・答えの確認をする際には、3人の児童のスピーチ内容と関連したことを児童に質問することにより、児童に次時の活動でのスピーチにつながるようにする。
2 5	【Activity 1】 自分の行きたい国について紹介する。英語ノートp.41に、行きたい国、その国旗、その理由をあらかじめ書いておき、それらを見せながら紹介する。 指導者のスピーチを聞く。 英語ノートp.39【Let's Listen 2】の絵を参考に、英語ノートp.41に行きたい国と、その国旗、その理由とを書き、それをもとに次時に自分の行きたい国を紹介することを告げる。 Now it's your turn. Next class you will make a speech. First. Where do you want to go? America? China? Spain? Write the name of the country. Second. Draw the flag.(国旗の絵カードを見せながら) Third. Why? Why do you want to go?(国旗絵カードを見せながら) Draw the pictures here. Something you like, want to see, want to do.(かくまねをしながら) Do you like history? Do you like koalas? Do you want to hold a koala? Do you want to see a baseball game in America? 指導者の絵や、英語ノートp.39の【Let's Listen 2】の絵を参考に、		国旗絵カード パペットを使うなどして、スピーチに興味を持たせるとともに、そのスピーチについてコメントをしたり、児童に質問したりして、聞くだけでなく、コメントすることの大切さを理解させる。  ・指導者は、児童が英語ノートに国旗や理由の絵をかいている間、机間指導をし、個別に“Where do you want to go?” “Why?”などと質問をし、スピーチができるように準備をさせるようにする。 ・相手に自分の思いをしっかりと理解してもらうためには、根拠を述べることが大切であることを理解させる。
5	【Activity 1】の四角の枠に自分で絵などを書き込む。  振り返りをする。 児童の英語を使おうとする態度面について、良かったところを言う。  挨拶をする。Good-bye. See you.  挨拶をする。Good-bye. See you.		・次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かった点を評価する。

### 5 評価規準

行きたい国やその理由に関するスピーチを聞いて、内容を理解する。  
< 英語ノート点検・行動観察 >

### 6 指導の反省

行きたい国とその理由について、英語で表現することができ、興味関心につながる。

## 外国語活動 活動指導案

- 1 単 元 名： 行ってみたい国を紹介しよう（第4限目） 第6学年1組
- 2 使用教材：英語ノート（英語ノート 36～43ページ）
- 3 本時のねらい：行きたい国をその理由とともに発表したり、相手の行きたい国やその理由を理解したりする。
- 4 本時の展開

時 間	学習内容	指導者の活動 児童の活動	指導上の留意点 準備
2	挨拶する。Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy. 表情絵カードを見せながら全体に挨拶する。 Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy.		・班ごとや列ごとに分けて、挨拶をするなど、できるだけ少人数でやりとりする機会を持たせる。
5	【Let's Chant】 チャンツ絵カードを見せながらチャンツをする。  チャンツをする。		・絵カードを示しながら歌うことにより、児童にチャンツの文言を思い出させるようにする。
1 5	【Activity 1】 自分の行きたい国についてスピーチすることを告げ、そのし方をモデルになって示す。 指導者のスピーチを聞き、スピーチのし方を知る。 前時に描いた【Activity 1】の絵をもとに、自分の行きたい国とその理由とについてスピーチをする練習をする。 前に出て、スピーチをするように告げる。また、友だちの発表を聞いて、自分と同じ国に行きたい友だちが何人いるかを数えておくよう指示する。 順に前に出て、スピーチをする。		・まず、指導者がモデルとなり、行きたい国とその理由とについてスピーチすることによって、児童にスピーチのし方を理解させるようにする。 ・前時で【Activity 1】で絵を描いている際に、指導者は個別に児童にどこの国に行きたいかを把握しているが、再度、児童が各自で練習している際に、個別に児童に聞いて回り、児童がクイズでヒントを出せるように支援する。
2 0	【Activity 2】 前に出て、スピーチをするように告げる。また、友だちの発表を聞いて、自分と同じ国に行きたい友だちが何人いるかを数えておくよう指示する。 友だちの発表を聞いて、自分と同じ国に行きたい友だちが何人いるかを英語ノートp.41の四角の枠に記入する。   振り返りをする。 児童の英語を使おうとする態度面について、良かったところを言う。  挨拶をする。Good-bye. See you.  挨拶をする。Good-bye. See you.		・自分の意見を述べる際には、その根拠を述べることによって、相手に自分の意見をより理解してもらえることに気付かせる。また、根拠を明確にすることにより、論理的思考力を育てるようにする。 ・友だちのスピーチを的確に聴き取り、質問に答える力を高める。  英語ノート
			・次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かった点を評価する。

### 5 評価規準

自分の行きたい国について、理由とともに発表する。＜発表観察＞  
自分の行きたい国について理由とともに発表しようとする。＜行動観察＞

### 6 指導の反省

全員の前でスピーチする経験ができる。